

(別紙)

平成20年度動物愛護管理功労者大臣表彰の受賞者

{ 個人 6名 }
{ 団体 1 }

○ 個人

受賞者	あおき こういち 青木 貢一 東京都町田市
主要功績	<ul style="list-style-type: none">○ (社)日本動物病院福祉協会の設立に参画し、利用者のニーズに対応する動物病院作りと獣医学の知識・技術の向上を目指してきた。○ (社)日本動物病院福祉協会会長に就任し、「家庭犬のためのしつけインストラクター養成講座」開設の礎を築いた。また、経営する病院に、飼い主教育のための「愛犬のしつけ教室」を開設し、「犬のしつけ」の啓発に力を注いだ。○ 「動物との共生を考える連絡会」の代表として、「動物愛護管理法」の普及・改正に貢献した。

受賞者	なかしま きしこ 中島 紀史子 兵庫県神戸市
主要功績	<ul style="list-style-type: none">○ 昭和50年より野良猫の不妊・去勢手術を施す等の動物救護活動を開始し、以来、年間300匹前後の不妊・去勢手術に取り組んだ。○ 阪神・淡路大震災に際し、阪神動物救護センターのボランティア活動に献身的に貢献した。○ (社)日本動物福祉協会阪神支部会員として、一貫して現場に徹した地道な動物愛護活動を続けている。また、猫を伴って老人介護施設への訪問を行い各地で歓迎されている。

受賞者	にしむら しょういち 西村 尚一 大阪府箕面市
主要功績	<ul style="list-style-type: none">○ 長期にわたりペット業界に従事し、業界の健全な発展と育成に貢献した。特に、大阪府のペット業界の健全な組織化に尽力した。○ (社)日本愛玩動物協会の運営等に参画し、動物愛護管理を推進する組織の確立と発展に貢献した。○ 関係行政機関と連携を図りつつ、家庭動物の適正飼養の普及啓発に尽力した。特に、動物愛護管理の普及啓発のための指導者として「愛玩動物飼養管理士」約8.5万人を養成・輩出した功績は極めて大である。

受賞者	ばば くにとし 馬場 國敏 神奈川県川崎市
主要功績	<ul style="list-style-type: none">○ 湾岸戦争、阪神・淡路大震災、新潟県中越大震災等国内外の緊急災害時において、ボランティアとして人と動物の救援活動に多大な尽力を果たした。○ 自費でボランティアセンターを開設し、その代表者として川崎市教育委員会と提携し、児童の野外授業として動物愛護の講義と動物とのふれあいの実践を行うなど、地域にとってかけがえのない存在となっている。○ 平成11年より(財)日本動物愛護協会評議員。

受賞者	まえじま かずよし 前島 一淑 神奈川県横浜市
主要功績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総理府動物保護審議会委員、環境省中央環境審議会動物愛護部会委員等として、長期にわたり動物愛護管理全般の推進のため多大な貢献を果たしている。 ○ 「実験動物の飼養及び保管等に関する基準の解説」、「動物の処分方法に関する指針の解説」等の執筆を通じ、動物愛護管理、特に、実験動物の適正な飼養管理を幅広い関係者や関係機関に普及徹底することに大きく寄与した。

受賞者	やまもと よしはる 山本 義晴 静岡県静岡市
主要功績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長期にわたり、静岡県が行う動物保護関係事業の推進に積極的に参画し、昭和52年静岡県動物保護協会発足後の組織強化や公益法人化に尽力し、平成18年より副会長。 ○ 負傷動物保護收容措置業務指定獣医師として、永年動物の保護及び愛護精神の高揚、普及推進に献身的に尽力している。更に、獣医師の高度な専門的知識や技術を生かし地域での動物の保健衛生の向上にも積極的に取組み、地域社会の発展に多大な貢献をしている。

○ 団体

受賞者	九州地区獣医師会連合会
主要功績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州・沖縄の獣医師会の連合組織として、捨てネコの防止、不妊・去勢手術の推進、飼育動物の適正飼養の啓発、野生動物保護・救護活動、学校における診療活動・学校訪問活動等を積極的に推進し、地域の動物愛護管理の推進に多大な貢献を果たした。 ○ 長崎県対馬のツシマヤマネコや沖縄県西表のイリオモテヤマネコといった希少野生生物への飼いねこからの重大なウイルス感染等を防ぐため、飼いねこのウイルス検査、不妊手術、マイクロチップ挿入等を無料で行い普及啓発するなど、地域の野生生物保護と飼養動物の適正管理推進に大きく寄与している。